

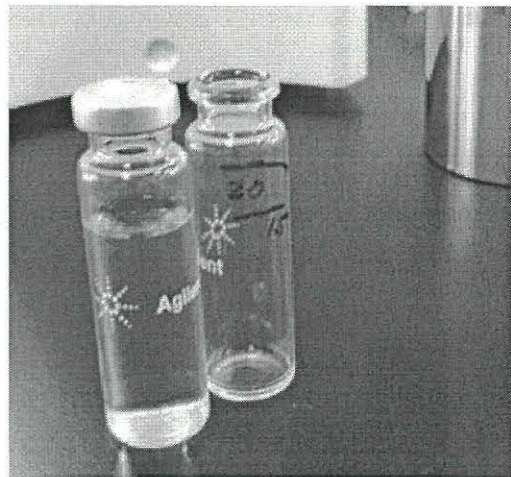
試験結果資料

「水素水浄水器 マリアージュ」から流出した水素水を密閉した容器上部空間ガスの水素定量結果

水素濃度 = 3 %

(体積%)

なお、水素水の密閉にはヘッドスペースサンプラ (HSS) 容器 (約 22mL) を用い、装置からの流出水素水約 15mL を取水した後に手早く密閉し、直ちにガスタイトシリンジを用いて密閉容器上部気相の一部 (25 μ L) をガスクロマトグラフ装置に注入した。



水素水を密閉した HSS 容器

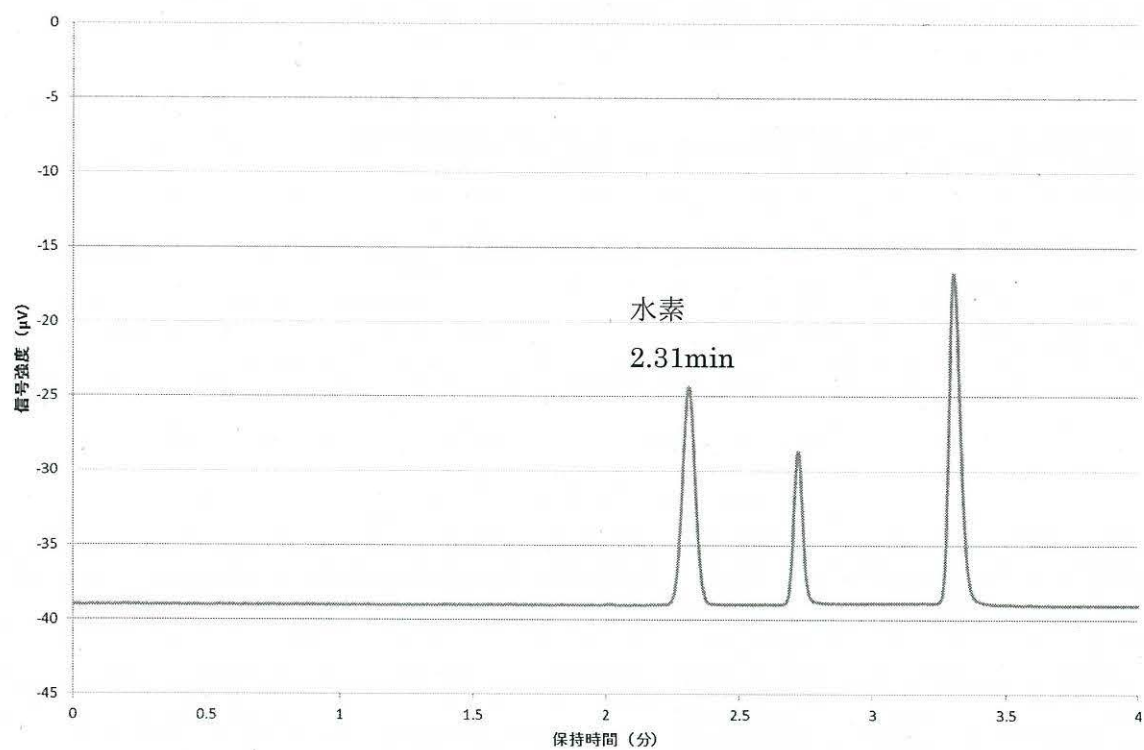
以下次頁

【ガスクロマトグラフ分析の結果】

(ガスクロマトグラフ分析条件)

装置	Hewlett Packard(現 Agilent) HP6890 型
分離カラム	HP-MOLESIEVE 長さ 15m 内径 0.53mm
カラム温度	35°C(4.0 分間保持)
検出器	熱伝導度検出器(TCD) 250°C
移動相ガス	アルゴン
試料注入量	25 μ L (手動シリンジ注入)
注入口温度	250°C

[ガスクロマトグラム]



以下次頁

[分析レポート]

ピーク No.	保持時間	面積(25uV*s)	面積(%)	成分名
1	2.31	42.2	32.46	水素
2	2.72	22.3	17.15	(酸素)
3	3.31	65.5	50.38	(窒素)
Total		130	100.00	

(注)

標準ガス測定で求めた水素 (99.99 体積%) の相対感度が試料測定濃度域にわたって一定であるとみなし、絶対検量線法 (JIS K0114 参照) により濃度 (体積%) を算出した。

以下余白